

Oliver Cann, Director, Media, Tel.: +41 (0)79 799 3405, Email: [oliver.cann@weforum.org](mailto:oliver.cann@weforum.org)

## アジア経済の競争力アジェンダに必要な不可欠なイノベーション

- 国際競争力レポート 2016-2017 によると、シンガポール、香港特別自治区、日本は、最も競争力のある国トップ 10 に常にランキング入りをしています。韓国は 26 位、中国は 28 位にとどまっています。
- マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナムはランクを下げたが、ASEAN 各国のここ 10 年間は極めて向上する傾向にあります。
- 金融刺激策の有効性を低下させる経済基礎となる競争力への懸念と経済活動の間の開放性の低下が、今年の主な調査結果のひとつです。
- イノベーションが、アジアの新興経済国の、競争力向上の中心的な役割を果たすでしょう。
- 報告書、情報画像、ビデオ、そのほかの資料はこちらから参照 [ください](#)

2016 年 9 月 28 日スイス、ジュネーブ世界経済フォーラムが本日発表した [国際競争力レポート 2016-2017](#)によると、シンガポールはスイスより 2 つほど順位は低いですが、依然として東アジアの最も経済力のある国です。

競争力レポートは、世界 138 カ国の生産性と経済的繁栄のファクターを毎年分析しています。日本は、2 つランクを落とし 8 位となりました。138 ある経済国のなかで、大韓民国(26 位)と中国(28 位)は順位を維持しています。ASEAN の 5 つの主要国の主マレーシア (25 位、7 下降)、タイ (34 位、2 下降)、インドネシア(41 位、4 下降)、フィリピン(57 位、10 下降)、そしてベトナム(60 位、4 下降) 降は、どの国も順位を落としました。しかし ASEAN 諸国と太平洋・東アジア全体の競争力は過去 10 年間で、圧倒的に強くなっています。2007 年から 15 ヶ国のうちの 13 ヶ国が、今日では評価をあげており、中でもカンボジア (89 位、1 上昇)、そしてフィリピンは最も大きな進歩を遂げています。

しかしながら、地域の先進経済諸国は、自国のイノベーションエコシステムをさらに発展させる必要があります。日本とシンガポールは、世界の革新国トップ 10 に入る経済力を持ったアジア唯一の国々です。日本、韓国(2007 年の 8 位から 20 位へと順位を落としている)、中華民国台北 (11 位)は 2007 年以降イノベーションの強みが著しく衰えています。中所得階層の創出を実現した新興経済の国々は、競争力を構成する複雑領域での向上を通して、「中所得経済の罠」を回避しなければなりません。

グローバルな視点から、今年の報告書において重要な視座は、世界の経済成長や技術革新を減速する要因となりつつあるという点です。経済国の開放性における最近 10 年の衰退は、すべての所得水準の国で共通の傾向であり、また主に非関税障壁の上昇に起因しています。また加えて、税関手続きの負担、直接投資の規制の影響、そして外国人持株比率の影響等の 3 つの要素もこれらの考慮に含まれています。

「世界経済の開放性の低下は、経済復調と将来の更なる発展を妨げる要因になりつつある。」と世界経済フォーラムの創設者でもあり会長でもあるクラウス・シュワブは語っています。また同氏は、「世界をけん引する国や政策立案者は、この 10 年間の傾向から脱却するよう変調させなければなりません。同時に、成長は包括的なものであり、誰もが競争力向上を通して便益を得る機会が与えられなければなりません。」と続けています。

このレポートはまた、量的緩和やほかの金融政策が世界の先進国にとっての長期的な成長に足りないものがなにかという点に焦点を当てています。この報告書により、国際競争力インデックス(Global Competitiveness Index (GCI)) の高い国が実施しているような介入方法では、GCI が比較的に低い経済国では同じ効果を生むことに失敗していることが判明しました。基本的な競争力は金融刺激の成功には不可欠であることを示しています。

この報告書では、発展の早期段階での優先課題がいかに変化しつつあるかについての示唆に触れています。インフラストラクチャー、健康、教育、機能性の高い市場といった競争力の源は常に重要ですが、2014 年以來の国際競争力インデックスは、科学技術の進歩やビジネスに関する深い知識、イノベーションが、1 人あたりの GDP の成長により大きく寄与することを示しています。

## 2016 年国際競争力インデックス

8 年連続で、シンガポールとアメリカをわずかな上回り、スイスが世界で最も競争力を持った国とされています。そのあとにオランダとドイツが続きます。オランダは過去 2 年で順位を 4 つあげました。続いてスウェーデン (6 位)イギリス (7 位)の 2 ヶ国が続き、どちらの国も順位を 3 つ上げています。イギリスの順位の変動には、EU 離脱に伴った GCI が起因しています。トップ 10 に入っている残りの 3 カ国; 日本(8 位)、香港 (9 位)フィンランド (10 位)は、どの国も順位を落としています。

ヨーロッパ 経済はトップ 10 に君臨し続けている一方で、南北分裂の可能性は残ったままです。スペインは 32 位まで順位を上げましたが、イタリアは順位を 1 つ落とし 44 位、ギリシャは 5 つ落とし 86 位です。フランスは、ユーロ圏で 2 番目に大きな

経済力を誇り、順位を1つ上げて21位に位置しています。ヨーロッパのどの国の経済も、今後の経済水準の維持・改善は、今後、イノベーションと必要な人材を活用できるかどうかで大きく左右されます。

世界最大の**新興市場の競争力**においては、収束の傾向が見られます。28位の中国はBRICSを構成している国のなかではトップを維持しています。急速な成長を遂げているインドが順位を16上げて39位に位置しています-つまり、その差をどんどん詰めてきているということです。ロシアと南アフリカはどちらも、順位を2つ上げ、43位と47位です。ブラジルのみが、順位を6下げ、81位となりました。

**アラブ世界**では、エネルギー価格の下落により、競争力向上への対応必要性の緊急度が高くなりました。トップ30のうちの3カ国; アラブ首長国連符(16位):カタール(18位):サウジアラビア(29位)において、エネルギー輸出国としての経済の多様性が、またエネルギー輸入国には、基礎的な競争力向上に向けた新たな取り組みが明らかに必要です。

**サハラ以南のアフリカ**で最も競争力を上げた国はルワンダであり、順位を6つ上げ52位となりました。この地域の伝統的に最も競争力のある経済、モーリシャス、南アフリカはそれぞれ緩やかな改善を続け、45位、47位と迫ってきています。もう少し順位の下の方を見ると、ケニアは96位に順位を上げ、エジプトは109位を維持、ナイジェリアは3つ順位を落とし127位です。

「非常に重要なことは、人々の生活・福祉の向上が経済成長の原動力であろうという点である。国際競争力レポートは、それらの成長ドライバーについての理解を助けるものであり、本エディションは、今後の成長を決定付ける重要要素である生産性低下が世界全体で危惧される中で発行されるものである」とコロンビア大学 経済学教授のシャビエル・サラ・イ・マルティンは述べている。

## 編集者への注意

国際競争力レポートの競争力の順位は、国際競争力インデックス(Global Competitiveness Index (GCI))に基づいており、2005年の世界経済フォーラムから導入されたものです。その国の生産力の水準となる制度や方針、必要要素を組み合わせたものを競争力と定義し、国ごとのデータを12のカテゴリーに分類したGCIスコアが算出されます。国の競争力の全体像を作り上げる-競争力の柱-です。12個の柱となるのは: 制度、インフラストラクチャー、マクロ経済環境、健康と初等教育、高水準の教育とトレーニング、市場の効率性、労働市場の効率性、金融市場の成長、科学技術の進歩、市場の規模、ビジネスに関する高度な知識、イノベーションです。

ブログ: <http://wef.ch/agenda>

世界経済フォーラムセッション: <http://wef.ch/youtube>

フォトアーカイブ: <http://wef.ch/pics>

Facebook: <http://wef.ch/facebook>

Twitter: <http://wef.ch/twitter> and <http://wef.ch/livetweet> (ハッシュタグ#WEF)

Weibo: <http://t.sina.com.cn/davos>

WeChat: davos\_wef

---

世界経済フォーラムは、国際情勢の改善にむけて官民協力を推進する国際機関です。世界経済フォーラムは、政治やビジネス、そして社会の指導者たちと共に、世界や地域そして産業アジェンダを推進しています。 ([www.weforum.org](http://www.weforum.org)).



World Economic Forum, 91-93 route de la Capite, CH-1223 Cologny/Geneva  
Tel. +41 (0)22 869 1212, Fax +41 (0)22 786 2744, <http://www.weforum.org>